

eラーニング指向性と グループワーク指向性との 関連

早稲田大学大学院
人間科学研究科
富永 敦子

早稲田大学
人間科学部
高崎 亜希子

早稲田大学
人間科学学術院
向後 千春

1

本研究の概要



eラーニングに向いている学習者、
向いていない学習者とは、
どのような学習者なのか？



- 学習者のeラーニング指向性質問紙を
作成・実施する
- eラーニングの好き嫌い、グループワークの
好き嫌いとの関連を調べる

2

結果

- 5因子(緊張感・効率性・直接性・孤独感・
柔軟性)を抽出した
- eラーニングを好まない人は、緊張感を
失いがちである
- 大学生は、eラーニングの欠点である直接性
の欠如や孤独感をさほど気にしない

3

方法

eラーニング指向性質問紙
作成と実施



4

質問項目の作成

- eラーニング授業の講師経験者と受講経験者が作成
- ブレンド型授業の授業アンケート(自由記述)をもとに作成
- 大学生の感覚に近い文言になるように工夫

5

質問紙の内容

- 質問項目:24項目
- 回答方法:5件法
- フェイスシート:
 - eラーニングが好きか?
 - グループワークが好きか?

6

調査方法

- eラーニングシステムのアンケート機能
- 回答期間:12日間
- 対象:X大学の学生271人
 - 回答者209人(回答率77.1%)
 - 有効回答160人
(男子98人 女子62人 平均年齢19.99歳)

7

結果および考察 — 質問項目の検討 —



8

項目分析

- G-P分析 全項目が5%水準で有意
- IT相関 全項目が5%水準で有意
- α 係数 0.851



不良項目はない

9

探索的因子分析(主因子法, バリマックス回転)

5因子(16項目)を抽出

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

10

因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングだと気が散って先生の話に集中できない
- eラーニングは授業を受けている気がしない
- eラーニングは緊張感がなくなり, だらだらしてしまう
- eラーニングは単調な感じがする
- eラーニングは臨場感に乏しい

11

因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングのほうが効率よく学習できる
- 知識を習得するときはeラーニングのほうがよい
- eラーニングの授業は物足りない

12

因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングは対面授業よりも先生に対して親近感がわく
- ディスカッションは対面授業のほうがやりやすい

13

因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングは、友人に会えないので寂しい
- 一人でeラーニングの授業を受けるのは寂しい

14

因子分析結果

- 第1因子 緊張感
- 第2因子 効率性
- 第3因子 直接性
- 第4因子 孤独感
- 第5因子 柔軟性

- eラーニングだと自分の都合に合わせて学習できる
- eラーニングの場合、自分が知っているところは飛ばせるのでよい
- eラーニングは時間や場所に拘束されないとよい

15

因子負荷量

| | 因子1 緊張感 | 因子2 効率性 | 因子3 直接性 | 因子4 孤独感 | 因子5 柔軟性 |
|--------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| eラーニングだと気が散って先生の話集中できない | .73 | -.27 | -.14 | -.05 | .07 |
| eラーニングは授業を受けている気がしない | .72 | -.19 | .19 | .00 | .22 |
| eラーニングのほうが効率よく学習できる | -.24 | .73 | -.07 | .00 | -.28 |
| 知識を習得するときはeラーニングのほうがよい | -.18 | .57 | -.15 | .16 | -.01 |
| eラーニングは対面授業よりも先生に対して親近感がわく | -.08 | .29 | -.67 | .07 | -.11 |
| ディスカッションは対面授業のほうがやりやすい | .19 | -.03 | .64 | -.15 | -.12 |
| eラーニングは友人に会えないので寂しい | .12 | -.19 | .19 | -.87 | -.06 |
| 一人でeラーニングの授業を受けるのは寂しい | .36 | -.03 | .06 | -.45 | .24 |
| eラーニングだと自分の都合に合わせて学習できる | -.24 | -.07 | .06 | -.02 | -.51 |
| eラーニングの場合、自分が知っているところは飛ばせるのでよい | .20 | .18 | -.10 | -.01 | -.51 |
| 累積寄与率 (%) | 16.51 | 26.27 | 34.09 | 41.79 | 49.08 |

16

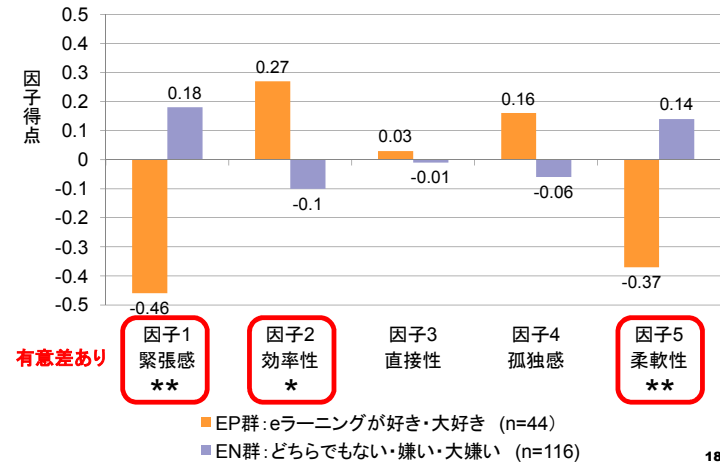
結果および考察

-フェイスシートの項目との関連-



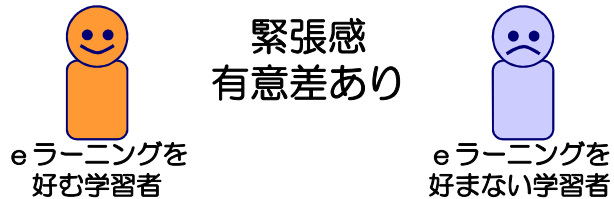
17

eラーニングの好き嫌い別 因子得点の平均



18

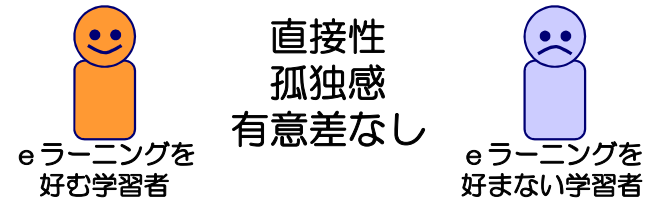
授業に対する緊張感



- eラーニングを好む人は、緊張感を失わずに受講できる
- eラーニングを好まない人は、緊張感を失いがち → ドロップアウトの要因

19

直接性・孤独感



- 直接性の欠如や孤独感は、eラーニングの欠点
- ITに慣れている大学生は、さほど気にしない

20

eラーニングを活用してもらうには？

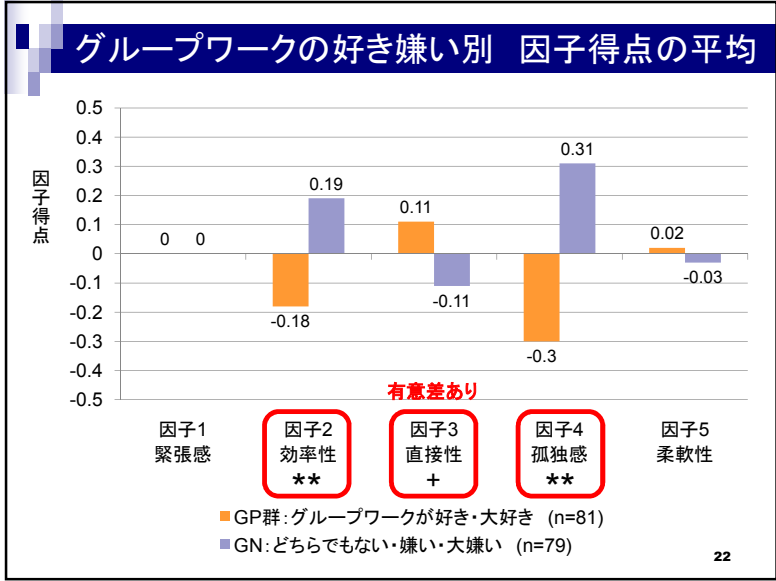
- 緊張感を持って学習するスタイルを身につけてもらう
- eラーニングの効率性・柔軟性を知ってもらう

→ **eラーニングは役に立つ！**

- 直接性を持たせる
- 孤独感を軽減させる

→ **あまり効果がないかも……**

21



効率性・直接性・孤独感

グループワークを好む学習者

直接性
孤独感
効率性

有意差あり

グループワークを好まない学習者

- グループワークを好む人は、
 - 直接性(人との触れあい)を好む
 - 孤独感を嫌う
 - 学習の効率性を重視しない

有意差があったのは当然の結果

23

緊張感・柔軟性

グループワークを好む学習者

緊張感
柔軟性

有意差なし

グループワークを好まない学習者

- eラーニング受講時の緊張感や柔軟性は、グループワークの好き嫌いとは関係がない
- 有意差がなかったのは当然

外的妥当性

24

結論



25

本研究の概要



eラーニングに向いている学習者、
向いていない学習者とは、
どのような学習者なのか？



- 学習者のeラーニング指向性質問紙を作成・実施する
- eラーニングの好き嫌い、グループワークの好き嫌いとの関連を調べる

26

結果

- 5因子(緊張感・効率性・直接性・孤独感・柔軟性)を抽出した
- eラーニングを好まない人は、緊張感を失いがちである
- 大学生は、eラーニングの欠点である直接性の欠如や孤独感をさほど気にしない

27

今後の課題

- 調査対象者を増やす
 - eラーニングの通信課程の学生の場合はどうか？
 - 中高年の場合はどうか？
- eラーニング指向性と成績との関連を調べる

28

ご静聴ありがとうございました。



29